

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：宮津与謝消防組合

<p>重点目標</p>	<p>住民生活の安全安心を守ることが消防に課せられた責務であり、そのためには、消防・救急・救助資機材の整備を図り、防災拠点の機能を強化することが必須である。 とりわけ、救急・救助事業については、年々増加の傾向にあり、さらに救急・救助資器材に関しては、性能の向上が著しいため、住民の生命・財産を全力で守るためには、最新鋭の資機材を整備することが不可欠であり、また重点目標である。</p>										
	<p>事業群</p>	<p>構成事業名</p>									
<p>消防防災緊急整備事業</p>		<p>多目的緊急搬送車整備事業</p>									
		<p>救助業務高度化事業</p>									
		<p>救急業務高度化事業</p>									
<p>事業群全体による 成果の概要</p>	<p>火災・救急・救助業務を迅速、的確に行うための消防防災に係る資機材の高度化は、地域住民の生命財産を守り、安全安心を支えることにつながり、また、消防職員の志気の高揚ももたらした。 多目的緊急搬送車は、まだ災害出場の機会はないが、夏場に多い水難事故を想定した訓練に11回出場しており、潜水士も出場途上に潜水服の装着が可能となり、活動までの準備時間の短縮を目指している。 簡易画像探索装置と化学防護服は、多様化する災害現場に対応するために不可欠な資機材であり、緊急援助隊として出場する場合にも必要である。 高規格救急自動車とAEDは、高度な救命処置を行うためには欠かせない資機材であり、救急患者の救命率を向上させるものである。</p> <p>※本年度の成果について、客観的な数値により評価できる場合は下欄に記入すること。また、複数の指標がある場合は適宜欄を追加すること。</p> <table border="1" data-bbox="376 1216 1471 1321"> <tr> <td data-bbox="376 1216 512 1272"> <p>成果指標</p> </td> <td data-bbox="512 1216 924 1272"></td> <td data-bbox="924 1216 1059 1272"> <p>実績値</p> </td> <td data-bbox="1059 1216 1471 1272"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 1272 512 1321"> <p>指標式等</p> </td> <td colspan="3" data-bbox="512 1272 1471 1321"></td> </tr> </table>			<p>成果指標</p>		<p>実績値</p>		<p>指標式等</p>			
<p>成果指標</p>		<p>実績値</p>									
<p>指標式等</p>											

(記載要領)

- 1 重点目標、事業群ごとに本様式を作成し、評価するものであること。
- 2 成果の概要については、できる限り客観的な数値によること。

2 個別事業評価調書

団体名: 宮津与謝消防組合

事業名		多目的緊急搬送車整備事業				
事業の概要		<p>水害、水難事故、山火事又は救助現場、これら様々な災害現場へ出場するだけでなく、小型ポンプを積載して、車検時の消防ポンプ自動車の代車としても使用できるマルチ型緊急搬送車の整備を行った。</p> <p>多目的緊急搬送車 三菱製2トントラックをベースに、荷台後部に最大600kgまで昇降可能なパワーゲートを取り付け、重量物の積込作業を効率的に実施できるように工夫した。</p> <p>事業費 6,325千円</p>				
		事業期間	平成21年12月18日～平成22年3月26日			
		総事業費	6,325千円	本年度事業費	6,325千円	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	<p>火災・救急・救助活動は、住民の生命、財産を守るための必須活動であり、その活動を支える緊急車両の整備は、極めて重要である。従来、消防ポンプ自動車の代車として使用できる緊急自動車としては、20年以上経過し老朽化の著しいトラックが1台あるだけで、多様化する災害に対しても、柔軟に対応できなかったため、当事業の必要性は極めて高いものであった。</p>				
	事業の有効性	<p>車両の安定性、荷台スペースの拡張、パワーゲートによる重量物の積み降ろし作業の容易さ、これらのことから、活動の迅速的確さが確保され、活動面でも多目的化が図れるため、極めて有効な事業となった。</p>				
	事業の効率性	<p>車両の多目的化を図ることにより、多目的緊急搬送車の活動機会が増加し、コストパフォーマンスの高い車両となることが予想されるため、効率性の高い事業だと思われる。</p>				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 安全安心な府民生活の基礎づくりに貢献している。				
		2 住民の自治意識を高める成果 消防庁舎に並ぶ緊急自動車の年式が新しくなること自体が、住民に安心感を与える効果が強く、その安心感が自治意識の向上につながっている。				
3 リーディング・モデル成果						
4 広域的波及成果 消防資機材の整備状況、あるいは先進的技術やアイデア等の情報に関しては、全国消防長会の情報メディアや消防関係専門誌で紹介されることが多く、全国各地の消防本部の資機材整備の指針になっている。また、近隣の消防本部とおしで情報交換をしているので、当事業の情報も全国の小規模な消防本部には参考になったり、啓発するものとなる。						
5 行財政改革に資する成果 財政の効率化を図るため、用途の拡大を目指した当事業は、行財政改革に資する効果が高いと思われる。						
6 その他の成果						

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名:宮津与謝消防組合

事業名		救助業務高度化事業					
事業の概要		救助活動を円滑迅速に行い、また活動範囲を拡大するため、画像探索装置、化学防護服及び予備ポンペを整備した。 この事業により、緊急消防援助隊としての活動にも幅が広がり、さらに高次元の活動を目指すことが可能となった。					
		事業費 2,764千円 内訳 画像探索装置 787千円 化学防護服 1,375千円 予備ポンペ 602千円					
		事業期間	平成21年6月23日～平成21年7月30日				
		総事業費	2,764千円	本年度事業費	2,764千円	交付金交付額	1,382千円
事業評価	事業の必要性	簡易画像探索装置は、地震等による倒壊建物における人命検索に欠かせない資機材であり、化学防護服は、有毒ガスの発生を伴う災害の増加に対応する必需品であり、これらの資機材の整備は欠かせないばかりでなく、救急援助隊としての活動にも不可欠なものである。					
	事業の有効性	救助活動の幅を広げる効果が高いだけでなく、危険性の高い救助現場で活動する隊員の安全性を高めるためにも有効な事業であった。					
	事業の効率性	年々、困難な活動を伴う救助事案の件数は増加しており、救助資機材の高度化を図ることは、短期のうちに効果が現れる点で、極めて効率の高い事業である。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 安全安心な府民生活の基礎づくりに貢献している。					
		2 住民の自治意識を高める成果 地震等を想定した救助訓練を実施し、高度な救助資機材を活用した訓練を住民に展示することにより、住民に安心感を与えることとなり、住民の安心安全のために財政投資がされているという実感が、自治意識の高まりにつながる。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果 地震等を想定した救助訓練を実施し、高度な救助資機材を活用した訓練を住民に展示することにより、住民に安心感を与えることとなり、住民の安心安全のために財政投資がされているという実感が、自治意識の高まりにつながる。 そのような啓発効果が、行財政改革に資する要素だと思われる。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。

2 個別事業評価調書

団体名: 宮津与謝消防組合

事業名		救急業務高度化事業																		
事業の概要		<p>高齢者比率の高い地域住民に対し、高規格救急自動車を配備し救命率の向上を目指すとともに、救急車出場中であっても迅速的確な救命処置ができるよう橋北分署にAEDを設置し万全を期した。</p> <table border="0"> <tr> <td>事業費</td> <td>28,658千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>高規格救急自動車</td> <td>28,298千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>AED</td> <td></td> <td>360千円</td> <td></td> </tr> </table>				事業費	28,658千円				内訳	高規格救急自動車	28,298千円				AED		360千円	
		事業費	28,658千円																	
		内訳	高規格救急自動車	28,298千円																
	AED		360千円																	
事業期間	平成21年8月8日～平成22年2月15日																			
総事業費	28,658千円	本年度事業費	28,658千円	交付金交付額	3,029千円															
事業評価	事業の必要性	<p>高齢化率の高い伊根町を管轄する橋北分署の救急自動車は、高規格車でないだけでなく、平成10年度から運用して11年が経過しており、走行距離も15万kmを越すにいたり、車体の老朽化が著しい状況であったため、当事業は必要不可欠な事業であった。</p>																		
	事業の有効性	<p>救急資機材を高度化することにより、救命効果が高くなり、極めて有効な事業である。 また、AEDの有効活用により、社会復帰率が2倍になると言われており、その点でも有効性の高い事業である。</p>																		
	事業の効率性	<p>救急資機材を高度化することにより、救命効果が高くなるばかりでなく、活動の省力化を図ることも可能となり、即座に成果が現れる点で、極めて効率的な事業である。</p>																		
	具体的な成果	<p>1 府と市町村等との連携に資する成果 安全安心な府民生活の基礎づくりに貢献している。</p>																		
		<p>2 住民の自治意識を高める成果 高齢化率が高く、入院施設のある病院まで距離のある地域住民にとって、高度な救命処置が可能となる資機材の導入は、大きな希望であり、希望すれば叶うという事実こそ、自治意識の向上に直結すると思われる。</p>																		
		<p>3 リーディング・モデル成果</p>																		
<p>4 広域的波及成果 当事業の完成により、管内の救急自動車がすべて高規格化され、どの地区へどの救急自動車が出場しても、すべて高規格救急が出場することとなり、管内すべての住民に、常に高度な救急救命処置が保障されるという安全安心を与えることができ、安心感の波及効果は大きいものがある。</p>																				
<p>5 行財政改革に資する成果 費用対効果を上げることが行財政改革に資する成果であるとすれば、救急資機材の高度化を図った当事業は、迅速的確な救命処置が可能となったことにより、救命率の向上が大いに期待されるため成果も大きいと予想される。</p>																				
<p>6 その他の成果 元来、人を助けたいという使命感の強い救急隊員にとって、資機材の高度化は、活動の力強い支えであり、その意味で、救急隊員に活力を与える結果となった。</p>																				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。